

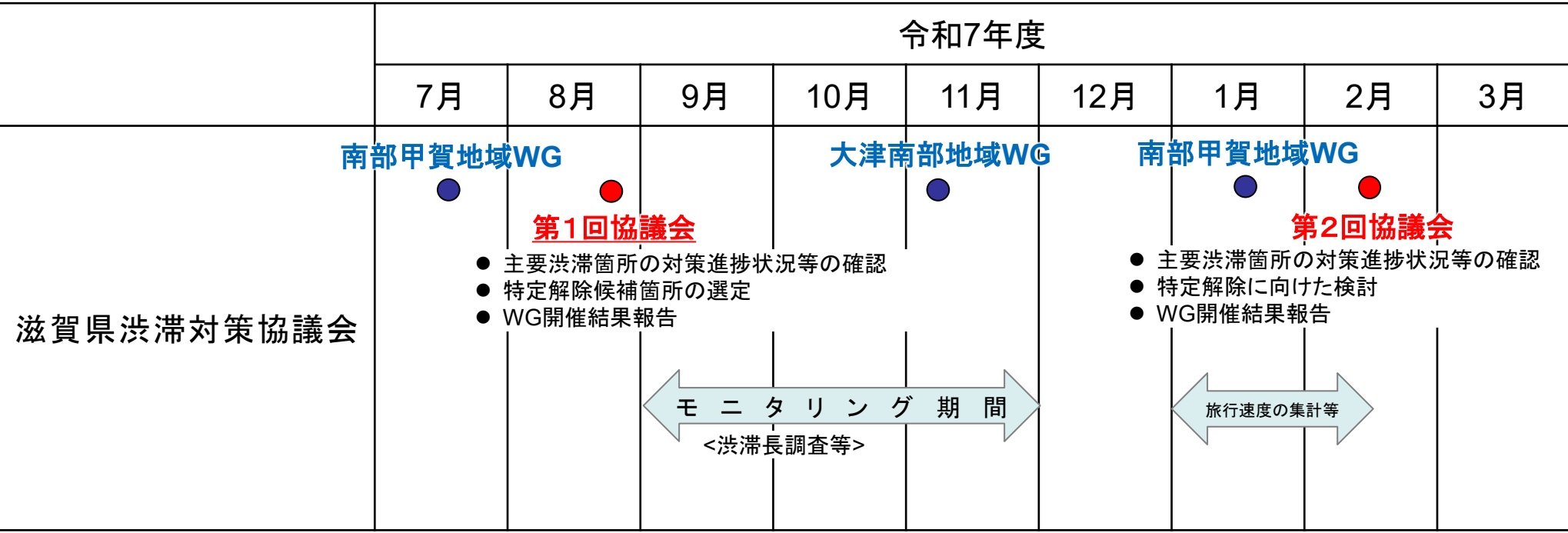
令和6年度 第2回 滋賀県渋滞対策協議会

今後の進め方

令和7年3月14日(金)

1. 今後の進め方

- 渋滞対策協議会において、主要渋滞箇所の交通状況及び対策進捗状況を把握して情報を共有する。
- 事業の推進を図るとともに、効果の早期発現が求められる箇所を対象にピンポイント対策を検討する。
- ETC2.0プローブデータや現地調査結果等に基づき継続的に交通状況をモニタリングするとともに、主要渋滞箇所の選定及び特定解除フローに基づき評価検討する。
- 交通需要マネジメント(TDM)など滋賀県及び各市町の今後の取組み予定を把握するとともに、交通ビッグデータを活用した技術支援等により渋滞施策の推進を図る。
- 大津南部地域WGにおいては、滋賀県・大津市・草津市等と連携し、残存する主要渋滞箇所の渋滞緩和に向けた取組みについて協議を行い、その結果を渋滞協に報告する。
- 南部甲賀地域WGにおいては、湖南市のまちづくりの状況も踏まえ、栗東水口道路Ⅱの段階的な整備(4車線化)に向けた優先区間の検討を行うと共に、TDM施策の検討を行いその結果を渋滞協に報告する。



※各会議スケジュールは現時点での想定時期であり今後調整
※モニタリング: 全主要渋滞箇所においてETC2.0プローブデータを用いて実施